平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月4日

上場会社名　大同信号株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6743　URL　http://www.daido-signal.co.jp/
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）北原　文夫
問合せ先責任者（役職名）執行役員財務統括部長　（氏名）浅田　安彦　TEL 03-3754-1122

四半期報告書提出予定日　平成23年2月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

（百万円未満切捨て）

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	9,939	7.3	295	134.1	616	258.9	449	406.9
22年3月期第3四半期	9,266	△9.1	126	△35.6	171	△29.2	88	△32.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	25.18	―
22年3月期第3四半期	4.96	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	20,270	9,586	47.3	537.60
22年3月期	19,891	9,372	47.1	525.01

（参考）自己資本　23年3月期第3四半期　9,586百万円　22年3月期　9,372百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	―	―	―	7.00	7.00
23年3月期	―	―	―		
23年3月期（予想）				7.00	7.00

（注）当四半期における配当予想の修正有無　無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	3.7	600	13.6	900	61.6	600	102.4	33.61

（注）当四半期における業績予想の修正有無　無

4. その他　（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　無

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　無

② ①以外の変更　有

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	18,018,000株	22年3月期	18,018,000株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	186,851株	22年3月期	166,284株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	17,841,325株	22年3月期3Q	17,856,853株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....2
(1)　連結経営成績に関する定性的情報.....2
(2)　連結財政状態に関する定性的情報.....2
(3)　連結業績予想に関する定性的情報.....3
２．その他の情報.....3
(1)　重要な子会社の異動の概要.....3
(2)　簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....3
(3)　会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....4
３．四半期連結財務諸表.....5
(1)　四半期連結貸借対照表.....5
(2)　四半期連結損益計算書.....7
(3)　四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....8
(4)　継続企業の前提に関する注記.....10
(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....10

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1)　連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期におけるわが国経済は、企業収益に改善の兆しが見られた一方で、急激な円高の進行や欧州の経済危機などに加え、依然として失業率が高水準にあり、物価はデフレ傾向が続くなど、企業の経営環境の先行きは一層不透明感が強まり、引き続き予断を許さない厳しい経営環境で推移しました。

このような状況のもと、当社グループといたしましては品質管理の徹底、生産性の向上、経費の削減に努めるとともに、受注の獲得と拡大に取り組んでまいりました。この結果、第３四半期連結累計期間における売上高は99億39百万円（前年同期比7.3％増）、営業利益は２億95百万円（前年同期比134.1％増）、経常利益は６億16百万円（前年同期比258.9％増）、四半期純利益は４億49百万円（前年同期比406.9％増）となりました。

事業の種類別セグメントの業績につきましては、鉄道信号関連事業については、軌道回路等のフィールド製品及びＡＴＣ（自動列車制御装置）が減少しましたが、電子連動装置等のシステム製品及び踏切装置・踏切障検・閉塞装置・集中監視装置・リレー等のフィールド製品が増加し、売上高は86億40百万円（前年同期比4.4％増）となりました。産業用機器関連事業については、塗装・金属メッキ及び金型は減少しましたが、梯子車・高所放水車制御装置・非接触ＩＤシステム及び可塑成形が増加し、売上高は12億98百万円（前年同期比31.5％増）となりました。

(2)　連結財政状態に関する定性的情報

（資産、負債及び純資産の状況）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ３億79百万円増加し、202億70百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が29億26百万円減少しましたが、現金及び預金が16億67百万円、たな卸資産が16億38百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

当第３四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ１億65百万円増加し、106億84百万円となりました。これは、未払法人税等が２億87百万円、賞与引当金が１億99百万円それぞれ減少しましたが、支払手形及び買掛金が３億86百万円、長期借入金が２億38百万円それぞれ増加したことなどによるものです。

当第３四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ２億13百万円増加し、95億86百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金が１億４百万円減少しましたが、利益剰余金が３億24百万円増加したことなどによるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当第３四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ16億49百万円増加し、33億６百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第３四半期連結累計期間における営業活動による資金は、22億53百万円の増加（前年同期は１億50百万円の減少）となりました。これは、たな卸資産の増加により16億38百万円、役員退職慰労引当金の減少により90百万円それぞれ資金が減少しましたが、売上債権の回収により29億26百万円、税金等調整前四半期純利益が６億16百万円それぞれ資金が増加したことなどによるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第３四半期連結累計期間における投資活動による資金は、６億53百万円の減少（前年同期は１億46百万円の減少）となりました。これは、関係会社株式の取得による支出５億39百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出１億３百万円などによるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第３四半期連結累計期間における財務活動による資金は、50百万円の増加（前年同期は６億４百万円の増加）となりました。これは、借入金の返済による支出が３億59百万円、配当金の支払額が１億24百万円それぞれありましたが、借入による収入が５億40百万円あったことなどによるものです。

(3)　連結業績予想に関する定性的情報

当第３四半期は前年同期と比較して、売上高、利益ともに上回り、概ね当初予定通りに推移しており、平成22年５月18日発表の業績予想に変更はありません。

２．その他の情報

(1)　重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2)　簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①たな卸資産の評価方法

当第３四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関しては、実地たな卸を省略し、第２四半期連結会計期間末の実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切り下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切り下げを行う方法によっております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却または除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

なお、定率法を採用している資産については、前連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

③法人税等ならびに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3)　会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

表示方法の変更

（連結損益計算書関係）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成20年12月26日）に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年３月24日　内閣府令第５号）の適用に伴い、当第３四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

３．四半期連結財務諸表

(1)　四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期 連結会計期間末 （平成22年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,375,073	1,707,666
受取手形及び売掛金	3,246,268	6,172,331
商品及び製品	2,125,482	2,467,207
仕掛品	4,676,877	2,760,993
原材料及び貯蔵品	938,343	874,330
その他	452,017	498,532
貸倒引当金	△2,941	△4,078
流動資産合計	14,811,121	14,476,982
固定資産		
有形固定資産	1,690,152	1,782,132
無形固定資産	54,049	54,626
投資その他の資産		
投資有価証券	3,070,804	2,983,560
その他	651,490	598,488
貸倒引当金	△7,218	△4,765
投資その他の資産合計	3,715,075	3,577,284
固定資産合計	5,459,277	5,414,042
資産合計	20,270,399	19,891,024
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,279,824	2,893,381
短期借入金	3,291,606	3,349,352
未払法人税等	5,525	293,441
賞与引当金	239,744	439,339
役員賞与引当金	13,671	38,550
製品補修引当金	100,796	100,796
受注損失引当金	128,182	128,182
その他	1,321,335	1,212,281
流動負債合計	8,380,686	8,455,323
固定負債		
長期借入金	528,752	290,433
退職給付引当金	1,661,491	1,597,260
役員退職慰労引当金	78,641	168,823
その他	34,798	6,772
固定負債合計	2,303,683	2,063,288
負債合計	10,684,369	10,518,612

（単位：千円）

	当第３四半期 連結会計期間末 （平成22年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,500,039	1,500,039
資本剰余金	1,233,716	1,233,716
利益剰余金	6,579,584	6,255,260
自己株式	△51,737	△45,784
株主資本合計	9,261,603	8,943,232
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	324,426	429,179
評価・換算差額等合計	324,426	429,179
純資産合計	9,586,030	9,372,411
負債純資産合計	20,270,399	19,891,024

(2)　四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）
売上高	9,266,951	9,939,084
売上原価	7,162,303	7,527,851
売上総利益	2,104,648	2,411,232
販売費及び一般管理費	1,978,374	2,115,610
営業利益	126,273	295,621
営業外収益		
受取利息	607	607
受取配当金	45,334	45,894
受取保険金	39,466	47,407
持分法による投資利益	－	219,586
株式割当益	－	41,860
雑収入	4,822	7,534
営業外収益合計	90,230	362,890
営業外費用		
支払利息	44,035	38,561
雑損失	780	3,743
営業外費用合計	44,815	42,304
経常利益	171,689	616,207
特別利益		
貸倒引当金戻入額	787	926
償却債権取立益	250	210
特別利益合計	1,037	1,136
特別損失		
固定資産除却損	335	736
特別損失合計	335	736
税金等調整前四半期純利益	172,390	616,606
法人税、住民税及び事業税	32,791	49,091
法人税等調整額	50,958	118,230
法人税等合計	83,749	167,321
少数株主損益調整前四半期純利益	－	449,285
四半期純利益	88,641	449,285

(3)　四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	172,390	616,606
減価償却費	259,196	222,418
持分法による投資損益（△は益）	－	△219,586
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△1,037	1,316
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△29,450	△24,879
賞与引当金の増減額（△は減少）	207,533	△199,594
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△1,058	△90,182
退職給付引当金の増減額（△は減少）	9,165	64,230
受取利息及び受取配当金	△45,942	△46,502
支払利息	44,035	38,561
固定資産除却損	335	736
売上債権の増減額（△は増加）	2,488,690	2,926,062
たな卸資産の増減額（△は増加）	△2,154,358	△1,638,173
仕入債務の増減額（△は減少）	△81,784	386,443
未払費用の増減額（△は減少）	△695,665	67,014
未払消費税等の増減額（△は減少）	△52,909	△52,828
その他の流動資産の増減額（△は増加）	△85,169	△71,126
その他の流動負債の増減額（△は減少）	168,356	634,435
その他	△3,530	△39,978
小計	198,801	2,574,974
利息及び配当金の受取額	45,942	48,602
利息の支払額	△44,035	△38,035
法人税等の支払額	△350,885	△332,535
営業活動によるキャッシュ・フロー	△150,177	2,253,006
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△56,000	△27,000
定期預金の払戻による収入	26,000	9,000
有形及び無形固定資産の取得による支出	△109,106	△103,354
投資有価証券の取得による支出	△10,110	△917
関係会社株式の取得による支出	－	△539,875
貸付けによる支出	△12,000	－
貸付金の回収による収入	14,165	3,170
その他	610	5,184
投資活動によるキャッシュ・フロー	△146,441	△653,791

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,340,000	170,000
短期借入金の返済による支出	△510,000	△225,000
長期借入れによる収入	500,000	370,000
長期借入金の返済による支出	△598,921	△134,426
自己株式の取得による支出	△1,876	△5,952
配当金の支払額	△124,716	△124,427
財務活動によるキャッシュ・フロー	604,486	50,192
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	307,866	1,649,407
現金及び現金同等物の期首残高	1,888,440	1,656,666
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,196,307	3,306,073

(4)　継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5)　株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。